



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員  
は会費に含まれる

発行所  
京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師  
上ル七観音町637  
インターワンプレイス烏丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 久保 佐世

主な内容  
医の倫理で代議員アンケート (2面)  
地区医師会との懇談(西京、綴賀、下西) (3面)  
核兵器廃絶目指しSリーパー氏が講演 (4面)

ご用命はアミスまで  
◆医師賠償責任保険  
◆休業補償制度  
(所得補償、傷害疾病保険)  
◆針刺し事故等  
補償プラン  
◆自動車保険・火災保険  
☎075-212-0303

診療報酬体系

内保連「物から人へ」の転換を  
工藤代表

内科系技術評価の確立を目指して

協会は1月24日、内科系学会社会保険連合代表の工藤翔二氏を講師に、「内科系医療技術の評価と内保連の立場」と題した第655回社会保険研究会を開催した。内保連は、①診療報酬改定に際して加盟学会の意見をとりまとめ厚労省に提案をすること、②現行診療報酬体系の中で評価されていない、あるいは評価不十分な内科系医師の技術評価の確立を活動の柱にしている。講演では、実際の取り



技術評価向上のための内保連の活動を解説する工藤氏

まとめの進め方やその成果、内科系技術評価確立に向けた様々な取り組みについて聞いた。講演は、協会・保団連で取り組む診療報酬改善運動を組み立てる上で、大変示唆に富んだ内容であった。加えて質疑では、協会が取り組んでいる処方料・薬剤料・処方せん料の7割以上減額の改善運動に対して、現状薬価差益はほとんどなく、減額する意図は薄れているが、そこをさらに進んで前進させるには、例えば退院後の処方料を引き

き継ぐケースが多いことについて、剤数や診療科種別、病床規模などの実態の把握が必要ではないかとの助言をいただいた。大変有意義な研究会となった。当日の様子は、保険医専用サイト(アドレス: ID・PASSは欄外)で動画を配信している。是非ご覧いただきたい。(2面つづき)

理事長、副理事長、監事選挙

立候補締切は 3月30日(月)

京都府保険医協会の理事長、副理事長、監事および

理事の任期(2年)が、2015年5月31日をもって終了します。任期終了にあたり理事長、副理事長および監事の選挙を、規約第14条及び選挙規定第1章により、次の要領で行います。  
▽公示 15年3月20日(金)  
▽立候補締切日時 15年3月30日(月) 午後4時  
▽選挙する役職名 理事長1人、副理事長5人、監事2人

※理事(若干名)は規約第14条第3項により理事長が副理事長と合議して選任します。  
▽任期 12力年・15年6月1日~17年5月31日  
▽選挙日程・場所 15年5月14日(木) 午後2時15分より京都税理士会館にて第189回臨時代議員会を

開催し選挙を行います。  
※選挙規定第16条により、立候補届出のあった候補者が定数以内のときは投票を行わず、京都府保険医協会代議員会議員が候補者をもって当選人と決定します。

▽立候補届出方法 立候補届出書は本協会の所定の様式1を使用し、所定の候補者経歴表を添付して立候補締切日時までに、本人が京都府保険医協会代議員会議長に提出して下さい。立候補届出書および候補者経歴表は本協会事務局にあります。(選挙規定第6条1項および第7条)  
▽所信表明 投票による選挙が行われるときは、各候補者は代議員および予備代議員に所信の表明を行わなければならない。その文書の字数は千文字以内とし、立候補締切期日後3日以内に京都府保険医協会代議員会議長に提出する。(選挙規定第9条1項)  
▽選挙公報 投票による選挙が行われるときは、京都府保険医協会代議員会議長は立候補届出書等の書類審査のうえ、速やかに選挙公報を作成し、代議員および予備代議員に送付する。(選挙規定第10条)

医界

相手の意見をよく聞き理解しようとする

主張  
速に進めると重大な陥穽を法的に個人情報見放題で作りかねない。本邦IT業界大手のF社社長人事や、IT社受注の特許システムで全情報を紐づけ・名寄せ開発の委託に「反社会」組がでる仕組みを巧妙に忍

「共通番号制度(マイナンバー)」に  
医療・介護情報をリンクさせるな  
織が介入するなどの現実がある中、悪意が付け込むキダラけとなりそう。原來的にベンダーや回線・システムメンテ業者等は「合

性が高い個人情報漏洩・不正使用リスクが、飛躍的に高まる。しかし、個人データの継続性便宜等のために安全性を犠牲にしては、さらにその上に際限ない利用拡大の仕組みが議論されている。データを、政策や研究に活用するとの説明は単に口実に過ぎず、行

日本医学会総会2015関西 並行企画  
歴史を踏まえた日本の医の倫理の課題  
日時: 4月12日(日) 9時30分~16時30分  
場所: 知恩院和順会館(京都市東山区知恩院山門前)  
参加費: 1,000円(資料代) 定員: 240人(申込先着順)  
主催: 「医の倫理」-過去・現在・未来- 企画実行委員会  
申込先: 京都府保険医協会  
(氏名・連絡先をTEL・FAX・メールにてお知らせください)  
※お弁当(1,500円・税込)を事前申込で受け付けています。ご希望の場合は申込時に個数をお伝え下さい。

が問われる課題である。少しでも人類がましになることを願うなら、真実を確認し、不幸な失敗を再び繰り返すことのないように教訓として次世代に伝える責務がある。来月京都で開かれる日本医学会総会と同時に開催する「医の倫理を問う」過去・現在・未来」は、当会も実行委員会の一翼を担い参加している企画で、70年前の戦時に日本の医師達が行った医学犯罪を問い、今これからの医の倫理の課題を議論する。多くの会員の参加をお願いします。(2)







# 憲法を考えるために



「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が(中略)平和のうちに生存する権利を有することを確認する」(憲法前文)

「私たちは過去のおやまちを二度と繰り返すことのないよう、戦争の悲惨さを若い世代に語り伝えていかなければなりません。とくに近隣諸国の人々と手を携えて、アジア太平洋地域ひいては世界の平和を確かなものとしていくためには、なによりも、これらの諸国との間に深い理解と信頼にもとづいた関係を培っていくことが不

## 二つの談話

可欠と考えます。(中略)わが国は、遠くない過去の一時、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国民、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に誤り無から

前文や村山談話の目指すところ、に、どれだけ近づき得たのであろう。多くの命と犠牲のもとに我々がようやく見いだした目指すべき方向そのものを、よもや否定はするまい。しかし最近見られるようになった、反知性主義(客観性や実証性を軽んじ、自分が理解したいように世界を歪め、異なる意見を無視し、ひとりがよりな決断を重視し、自分が理解したいように世界を理解しようとするため、不適切な発言をしたという自覚ができず、聞く側の受け止め方に問題があると認識してしまう)が特徴とされる(客観的な歴史学の成果を無視

しめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここにあらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします」(戦後50年・村山談話)

そしてそれから更に20年、戦後70年を迎え、我々は憲法

し、自らに都合の良い過去は誇張や捏造をしたり、都合の悪い過去は過小評価や抹消をしたりして、自らのイデオロギーに都合のよいように過去に関する記述を修正するもの(歴史学用語とは別)を指し、歴史学用語とは別(密保護法制定、集団的自衛権

容認、紛争地域への自衛隊派遣、武器輸出拡大を可能とする法制定や法解釈などをみていくと、戦後70年首相談話が心配になる。歴史に逆行するような談話を出さないで下さい、頼みますよ。(理事・飯田哲夫)

### 九条の会アピールを支持する京都医療人の会

#### 第7回定期総会

講演 「憲法9条を立体的にとらえる —平和主義の再生のために—」

講師 君島 東彦氏 (立命館大学教授)

日時 5月16日(土) 午後2時～4時

場所 京都府保険医協会・会議室

要申込 定員60人

会員でない方の参加も歓迎します

## 意見集約に至らず

### 第6回医療事故調検討会

厚生労働省は、2月25日「第6回医療事故調検討会」の施行に係る検討会を開いた。検討項目は、①医療機関が行う医療事故調査②センターが行う調査③医療事故の定義④医療事故発生時の報告について⑤4点で、今検討会で取りまとめを指したが、複数の項目で意見集約に至らなかった。このことから、同制度の運用に関する省令公示や通知発出が当初予定よりも遅れる見込みだ。

最大の争点は、①に関連した「医療機関が行った調査の遺族への説明方法」

す②修正案については承が得られない場合は早めに再度検討会を開催する③開催する場合も最終的に取りまとめに到らない項目は両論併記とせざるを得ないという方向性が確認された。検討会再開の提案にほとんどの構成員は否定的な意見で、座長の一任に決まっていたが、白紙委任は難しいとの意見もあり、結果としてそのような方向性になっても、日程調整の上、参加できる構成員は少なくなる可能性が高い。

## 医師が選んだ 医事紛争事例

14

(40歳代前半女性)

〈事故の概要と経過〉

硬膜外麻酔併用全身麻酔下で腹式子宮全摘術を施行した。タップ位置はL2、3であった。直後に、単純レントゲンを撮影したが、カテーテルは写らないものを使用していた。続いて2日間、持続硬膜外鎮痛を行った。患者は手術直後に下腹部から下肢にかけて疼痛を訴えていたが、通常の術後鎮痛処置を行い、経過を観察した。しかし疼痛が治まらないためCT、MRを施行したところ、左腸腰筋の瀰漫性腫大が判明し、

腸腰筋炎と診断した。MR所見では、左腸腰筋は若干の炎症は残すものの、腫大は右側腸腰筋とほぼ差のないものとなった。それからも加療とリハビリを続け退院となった。その後は整形外科で通院を続けた。

患者は、パートの会社員であり、少なくとも3カ月の傷病手当金の補償されない4割分を医療機関側に

請求してきた後に、調停・訴訟を申し立てた。医療機関側としては、事故の原因は硬膜外カテーテルが左腸腰筋内に迷入して留置され、局所麻酔薬が筋肉内に直接注入となったこととが推察されることだった。また、以下の理由から、医療過誤とはせずに

から、翌日には検査を実施すべきではなかったか。翌日は土曜日であったことから、検査がすぐにできなかったのだから、仮に翌日に検査をして腸腰筋炎と診断されていれば、もう少し早く退院できた可能性が高い。仮に鎮痛剤が必要以上の量で投与されていたとすれば、2日間も持続硬膜外鎮痛をしたことに疑問が出てくる。また、⑤で医療機関が報告している通り、

整形外科の治療費に関して院長は患者に請求しないことを告げているが、これは一部でも医療過誤を認めたと患者側に誤解されても仕方ないことであろう。更に、医療安全の体制として、医療機関の事務が医療事故について知らされるのが遅すぎることが多々あるとのことであった。この点

についても医療機関側に改善を望みたい。改めて医療安全は、院長の判断のみならず、医療機関全体で対応すべきことを今後とも啓発していきたい。

〈顛末〉 裁判所の和解勧告に応じ、和解した。なお、和解額は訴訟額の3分の1程度であった。

## 医療安全体制に 不備が見られたケース

判断できないとのことだった。①硬膜外カテーテル挿入の手法は通常通りに施行しており、経過中、異常は認められなかった②カテーテルの留置位置異常を調べるための局麻薬のテスト投与も施行して陰性であった③

## 保険診療



### 自己負担額上限管理票について

Q、新たな難病法による特定医療費(法別番号54)及び小児慢性特定疾病医療支援(法別番号52)と重度心身障害児者医療費助成制度(法別番号43)及び重度心身障害老人健康管理事業(健管)の併用の場合、患者の一部負担金は徴収しないが、自己負担上限管理票の取り扱いと同様です。

### 合意されなかった主な論点

- 院内調査の報告書の交付を遺族が希望した場合の取扱
- 院内調査の方法における匿名性の確保の問題  
⇒調査開始の段階から、調査資料等の匿名化を確保すべきとの意見
- 院内調査における医療従事者への教示の問題  
⇒報告書が、センターへの提出や遺族への説明という目的以外の用途に使用される可能性があることを教示することが適当であるとした上で、教示事項として刑事訴訟等への利用などの具体例を記載すべきかどうか
- 報告書に医療従事者の意見が記載された場合に、当該医療従事者からの訂正要求に関する問題  
⇒医療従事者が述べた意見と異なる内容であった場合、訂正を求める権利があることを明示すべきかどうか
- センター調査報告書の一部として、提出されている院内の報告書も交付するものかどうか  
⇒センター調査は主に院内調査結果の検証であるため、検証のもととなる院内の報告書も合わせて交付されるべき、との意見に対し、院内の報告書をふまえてセンターの責任で報告書をまとめるため、交付は不要との意見
- センター調査結果の取り扱いについて「法的義務のない開示請求に応じない」との記載について、厚生労働省の権限として認められるかどうか  
⇒他の所管省庁で判断されるべき事項。様々な解釈を生みかねず有害
- 予期しなかった死亡等の定義のうち、第三号省令案(管理者が担当医らから事情を聴くなどして当該死亡が予期されていたと認定した場合)について、通知で救急の場合など何らかの例示を示すかどうか

文化企画

# 味と香りに大満足 第4回ワイン講座開く

協会は、第4回目となるワイン講座を2月22日に開催。山本博理事を講師に、ワインの解説を聞いたつ、さまざまなワインを楽しんだ。参加者は37人。以下に参加記を掲載する。

## 「ブルゴーニュ」に惹かれて

大友 啓資(上京東部)

ブルゴーニュという言葉の魅力に惹かれて、今回のワイン講座に参加しました。場所は御池中学の前にあるイタリアンレストラン「ストラーダ」です。店内に入ると、大きなスクリーンの前におびただしい数のワイングラスが輝き、いやがうえにも期待が膨らみます。出席の方々は御夫婦が多く、いかにもというより気軽に飲みに来ましたという雰囲気です。



協会長の垣田理事長のご挨拶に続き、山本博先生(本日の講師)の登場です。スライドを用いて、良い葡萄酒の木の根は深いという基本的なことから、葡萄酒が好きなになる早道5項目、ブルゴーニュワインの黒葡萄の品種などの解説後、いよいよ本日の試飲が始まりました。ブルゴーニュ地方の地図を参照しながら、畑によって全く味が異なる、日当たりの良い斜面が



最適というお話を聞きつつ、次々と登場するすばらしいワインの味と香りに大満足です。

ジュブレ・シャンベルタン、クロ・ド・ヴー、ヴォーヌ・ロマネなどの有名なワインを味わっていると、ついに本日の最後を飾るに相応しい「神の作りしワイン」と山本先生が叫ばれるニユイサン・ジョルジュのクロ・デ・コルヴェです。あのロマネ・コンティのオーナーが共同経営者で、ミランダージュ(結実不良を生じたために実が小さく糖度と酸味が凝縮している)を使用している。さすがに試飲後の残り香が長くパワフルで圧倒されます。1時間にとわたり試飲会は以上で終了で

参加者一同で記念の一枚  
2月15日、京響メンバーによるサロンコンサート「朝の挨拶」、2曲目はホルター」と耳に馴染んだ曲が続きました。また、曲の合間にはピオラの金本さんが曲や作曲家について短いお話をしてくださるので、それがとても楽しく、4人の美女たちです。

文化企画

# 優雅なひととき サロンコンサート開く

協会は、京響メンバーによるサロンコンサートを2月15日に開催。弦楽四重奏を楽しんだ。参加者は13人。以下、参加記を掲載する。

## 贅沢な時間

須藤 ゆう子(くらのた医院)

最初の曲はエルガー作曲「朝の挨拶」、2曲目はホルター」と耳に馴染んだ曲が続きました。また、曲の合間にはピオラの金本さんが曲や作曲家について短いお話をしてくださるので、それがとても楽しく、4人の美女たちです。



演奏に聴き入る参加者です。いい音楽、本物の音は聴いていて心に沁みこみ、満たしてくれる気がします。それを手が届きそうな近い距離に、演奏者の繊細な手が音を紡ぎだすのを間近に見て、聴いているのはとても贅沢な時間でした。

慢性二硫化炭素中毒症は、長期にわたる二硫化炭素ガスへの暴露によって引き起こされる血管障害を基礎として発症する疾患である。主としてヒスコースレーヨンの紡糸工程でみられる職業起因性疾患である

# Work Health 11

吉中 丈志(中京西部)

## 日本産業衛生学会での報告

各々52歳、48歳、47歳である。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

## X線CTでは脳萎縮や脳室拡大は同様にみとめられ

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

脳梗塞で突然発症した例もある。A中略V3例とも二硫化炭素性網膜症と脳血管障害を呈し、職歴は19年〜21年におよんでいた。A中略Vで得た。MRIの特徴は、びまん性の脳萎縮に加え、shortSE像にて広範

4月のレセプト受取・締切			
基金国保	9日(木)	10日(金)	10日(金)
	○	◎(※)	◎(※)
労災			

○は受付窓口設置日、◎は締切日  
(※)オンライン請求の場合は24:00迄  
受付時間：基金 午前9時～午後5時30分  
国保 午前8時30分～午後5時15分  
労災 午前9時～午後5時

## 計報

訂正 本紙第2922号1面の医界寸評に誤りがありましたので、訂正します。「経済白書の」もはや戦前ではないは「の傍線部分は「戦後」です。

竹之内智氏(享年84、西陣) 2月22日逝去。謹んで哀悼の意を表します。